

Ⅶ 教育委員会の活動の点検及び評価

1 教育委員会活動実績

4月1日(木)	臨時教育委員会・教職員着任式
4月9日(金)	4月愛日地方教育事務協議会
4月23日(金)	4月定例教育委員会
5月13日(木)	愛知県町村教育長協議会定期総会・研修会(書面開催)
5月14日(金)	5月愛日地方教育事務協議会(書面開催)
5月24日(月)	5月定例教育委員会
6月28日(月)	6月定例教育委員会
7月7日(水)	7月愛日地方教育事務協議会
7月9日(金)	愛知県市町村教育委員会連合会第55回定期総会(書面開催)
7月26日(月)	7月定例教育委員会
7月30日(金)	愛知県市町村教育委員会連合会第2回理事会
8月27日(金)	8月定例教育委員会
9月27日(月)	9月定例教育委員会
10月8日(金)	尾張部都市教育長・尾張部町村教育長会議合同会議
10月19日(火)	10月愛日地方教育事務協議会
10月25日(月)	10月定例教育委員会
11月11日(木)	愛知県町村教育長協議会研修会
11月22日(月)	11月定例教育委員会
12月24日(金)	12月定例教育委員会
1月11日(火)	1月愛日地方教育事務協議会
1月28日(金)	1月定例教育委員会
2月9日(水)	愛知県市町村教育委員会連合会第3回理事会
2月21日(月)	2月定例教育委員会
3月8日(火)	3月愛日地方教育事務協議会
3月25日(金)	3月定例教育委員会
3月31日(木)	教職員退職辞令伝達式

2 教育委員会会議（議案、専承等）について

(1) 4月臨時会（令和3年4月1日）

議事	(1) 教育長職務代理者の選出について
----	---------------------

(2) 4月定例会（令和3年4月23日）

議案	(1) 東郷町立小中学校における食物アレルギー対応検討委員会設置要綱の制定について
専承	(1) 東郷町共同学校事務室設置要綱の一部を改正する要綱について (2) 東郷町立小中学校児童生徒に係る結核高まん延国からの転入時における結核精密検査実施要領の制定について (3) 東郷町立小中学校結核対策判定医設置要領の制定について (4) 東郷町スポーツ推進審議会の委員の委嘱について (5) 東郷町給食センター給食用物資選定委員会委員の委嘱について
教育長報告	(1) 校長への指導事項等について
報告事項	(1) 4月校長会について (2) 後援名義の使用許可について (3) 令和3年度校長会組織について (4) 令和3年4月7日現在児童生徒数及び学級数について (5) 令和2年度中学校卒業生進路先状況について (6) 令和3年度私立・国立中学校入学者について (7) 東郷町立図書館の利用状況について (8) 令和3年度学校給食献立計画について

注) 専承とは、緊急に処理する必要がある、かつ、委員会の会議を招集する暇がないときにおいて教育長が専決処理し、次の委員会において承認を求めたもの。

(3) 5月定例会（令和3年5月24日）

議案	(1) 後援名義の使用許可について (2) 東郷町給食センター運営委員会委員の委嘱について
専承	(1) 学校評議員の委嘱について (2) 東郷町体力づくり推進委員の委嘱について (3) 東郷町図書館協議会委員の委嘱について (4) 令和3年度一般会計補正予算（第1号）について
教育長報告	(1) 校長への指導事項等について
報告事項	(1) 5月校長会について (2) 令和2年度東郷町スポーツ協会各部事業報告について (3) 令和3年度東郷町スポーツ協会年間事業計画書について

(4) 6月定例会（令和3年6月28日）

教育長報告	(1) 校長への指導事項等について
報告事項	(1) 6月校長会について (2) 後援名義の使用許可について (3) 要保護・準要保護児童生徒数について

(5) 7月定例会（令和3年7月26日）

議案	(1) 令和4年度使用小中学校教科用図書の採択について (2) 東郷町教員の働き方改革ガイドラインの策定について (3) 後援名義の使用許可について (4) 東郷町教育委員会評価委員の委嘱について (5) 町指定文化財の指定について
専承	(1) 令和3年度給食用物資納入業者の承認について
教育長報告	(1) 校長への指導事項等について
報告事項	(1) 7月校長会について (2) 後援名義の使用許可について (3) 要保護・準要保護児童生徒数について

(6) 8月定例会（令和3年8月27日）

議案	(1) 後援名義の使用許可について (2) 令和3年度一般会計補正予算（第3号）に対する意見について (3) 令和3年度一般会計補正予算（第4号）に対する意見について
教育長報告	(1) 9月議会一般質問について
報告事項	(1) 夏季休業中について (2) 要保護・準要保護児童生徒数について (3) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果報告書（令和2年度）の提出について

(7) 9月定例会（令和3年9月27日）

議案	(1) 後援名義の使用許可について (2) 東郷町体力づくり推進委員の委嘱について
教育長報告	(1) 校長への指導事項等について
報告事項	(1) 9月校長会について (2) 後援名義の使用許可について (3) 要保護・準要保護児童生徒数について

(8) 10月定例会（令和3年10月25日）

議案	(1) 令和4年度教職員定期人事異動方針の策定について
専承	(1) 教育委員会表彰について (2) 東郷町給食センター給食用物資選定委員会委員の委嘱について
教育長報告	(1) 校長への指導事項等について
報告事項	(1) 10月校長会について (2) 後援名義の使用許可について (3) 要保護・準要保護児童生徒数について

(9) 11月定例会（令和3年11月22日）

議案	(1) 後援名義の使用許可について (2) 令和3年度一般会計補正予算（第6号）に対する意見について
専承	(1) 東郷町立小中学校児童生徒用モバイルルーター等貸出要綱の制定について
教育長報告	(1) 校長への指導事項等について
報告事項	(1) 11月校長会について (2) 後援名義の使用許可について (3) 要保護・準要保護児童生徒数について
協議事項	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（令和2年度）に対する評価委員の意見に係る今後の対応について

(10) 12月定例会（令和3年12月24日）

専承	(1) 東郷町立小中学校における医療的ケアの実施について
教育長報告	(1) 校長への指導事項等について
報告事項	(1) 12月校長会について (2) 後援名義の使用許可について (3) 要保護・準要保護児童生徒数について (4) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（令和2年度）に対する評価委員の意見に係る今後の対応について

(11) 1月定例会（令和4年1月28日）

議案	(1) 東郷町立小中学校児童生徒の災害共済給付に係る共済掛金に関する要綱の制定について (2) 東郷町就学援助費事務取扱要綱の一部改正について (3) 東郷町特別支援教育就学奨励費事務処理要領の一部改正について (4) 東郷町体力づくり推進委員の委嘱について (5) 後援名義の使用許可について
教育長報告	(1) 校長への指導事項等について
報告事項	(1) 1月校長会について (2) 後援名義の使用許可について (3) 要保護・準要保護児童生徒数について

(12) 2月定例会（令和4年2月21日）

議案	(1) 令和4年度東郷町立小中学校教職員定期人事異動の内申について (2) 東郷町学校運営協議会規則の制定について (3) 東郷町教育委員会事務局組織規則の一部改正について (4) 東郷町スポーツ推進委員規則の一部改正について (5) 令和4年度東郷町教育の一般方針について (6) 令和3年度一般会計補正予算（第9号）について (7) 令和4年度一般会計当初予算について
教育長報告	(1) 校長への指導事項等について
報告事項	(1) 2月校長会について (2) 後援名義の使用許可について (3) 要保護・準要保護児童生徒数について

(13) 3月定例会（令和4年3月25日）

議案	(1) 学校医の委嘱について (2) 学校薬剤師の委嘱について (3) 東郷町スポーツ推進委員の委嘱について (4) 東郷町体力づくり推進委員の委嘱について (5) 教育委員会感謝について (6) 教育委員会感謝について (7) 教育委員会感謝について (8) 教育委員会感謝について (9) 教育委員会感謝について (10) 教育委員会感謝について (11) 教育委員会感謝について (12) 教育委員会感謝について (13) 教育委員会感謝について (14) 後援名義の使用許可について
専承	(1) 令和3年度一般会計補正予算（第10号）について
教育長報告	(1) 校長への指導事項等について
報告事項	(1) 3月校長会について (2) 後援名義の使用許可について (3) 要保護・準要保護児童生徒数について

3 訪問・視察

(1) 学校訪問

町内の小中学校9校を2グループに分け、隔年で各学校を訪問し、それぞれの学校の取り組みについて直接知る機会を持っています。

今年度は、次の4校を訪問し、子どもたちの学びの様子や学校の運営方針、施設、教育環境、授業等さまざまな視点で、その学校の良さや抱えている課題などを把握

することに努めました。

ア ねらい

- ① 学校教育における指導の重点並びに学校経営の視点の徹底を図る。

◆令和3年度 学校教育の基本的理念

- いのちを尊び、こころやからだを鍛え、たくましく生きる力を養う。
- 自ら学び、深く考え、広い視野をもって主体的に行動する力を養う。
- 礼節を重んじ、自らを律し、他とともにこころ豊かな生活を築く態度を養う。

- ② 小・中学校教育計画の実施状況を把握し、問題点について指導助言をする。

- ③ 学校教育指導上の問題点、児童生徒の指導の実際について指導助言をする。

- ④ 学校における現職教育（初任者研修、教職経験者研修を含む。）の推進を図る。

イ 訪問日時・学校

- ① 令和3年5月31日（月） 春木台小学校
- ② 令和3年6月14日（月） 東郷中学校
- ③ 平成3年10月18日（月） 春木中学校
- ④ 令和3年11月4日（木） 諸輪中学校

ウ 内容

学校概要説明（学校経営説明）、授業参観

エ 各学校の研究テーマ

学 校 名	研 究 テ ー マ
春木台小学校	「探求心をもって積極的に粘り強く学ぶ子の育成」 －互いを認め合いながら、高め合う喜びを実感できる授業を通して－
東郷中学校	「主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業の創造」 －自他の考えを大切にしたい学び合い活動を通して－
春木中学校	「自ら学びを求め、学びを実感する生徒の育成」 －対話的なかわり合いを通して－
諸輪中学校	「確かな学力を身につけた生徒の育成」 －主体的・対話的で深い学びを意識した授業づくり－

(2) 学校経営説明会

- ア 令和3年6月21日（月） 諸輪小学校
- イ 令和3年6月24日（木） 東郷小学校
- ウ 令和3年6月24日（木） 兵庫小学校
- エ 令和3年6月29日（火） 音貝小学校
- オ 令和3年6月30日（水） 高嶺小学校

(3) 行政視察研修について

例年、愛知地区で実施している教育委員の研修会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止となりました。

4 成果・課題等

令和3年度の教育委員会の活動は、概ね当初の予定どおり実施することができたが、今後も教育委員会活動の充実を目指し、見直しや工夫を継続していく必要がある。

(1) 情報発信

町ホームページで、教育委員会関係の情報発信をすることができた。

(2) 教育委員会会議

議案の内容がわかりやすい会議資料を作成するとともに、簡潔説明に努め、スムーズに会議を進めることができた。

(3) 学校訪問・行政視察

春木台小学校、東郷中学校、春木中学校、諸輪中学校の4校を学校訪問し、学校の経営方針、施設、教育環境、授業等について、学校が抱えている課題や実情を把握することができた。学校訪問を実施しなかった学校においては、学校経営説明会を実施したので、学校訪問又は学校経営説明会のどちらかで、全小中学校を訪れることができ、学校の現状が確認できた。

VIII 教育委員会評価委員の意見

令和3年度に東郷町教育委員会が実施した事務及び東郷町教育委員会の活動について、教育委員会評価委員2名から意見をいただきました。

東郷町教育委員会評価委員 杉浦 慶一郎

「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果報告書（令和3年度）」（以下「結果報告書」という。）を拝読すると、東郷町教育委員会が実施した事務及び東郷町教育委員会の活動が着実に実施され、充実した教育成果をあげていることが確認できます。

令和3年度は、どんなに変化して予測困難な時代になっても、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現してほしいという願いが込められた新しい学習指導要領が、小学校では全面実施2年目となり、中学校では全面実施初年度となりました。新しい学習指導要領に基づく新たな学びに向けて各学校では様々な取組を準備したことも多いと思われませんが、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえて学校現場では厳しい規制を続けながらの教育となりました。

このような状況の中、全国的にGIGAスクール構想の前倒し実施により小中学校の児童生徒1人に1台の学習用タブレット端末等が整備されましたが、この利活用のためには端末の整備だけではなく、学習環境等の整備が不可欠であることが明らかとなりました。東郷町において、中学校の普通教室等に大型提示装置を整備すると共に、安定した学習用タブレット端末の運用のために、インターネット接続サービスの利用や各種アカウントの管理及び更新等にも予算を確保して機器環境の整備を進めたことは時宜をえた適切な対応として評価できます。また、家庭学習におけるタブレット端末の活用に向けて就学援助の費目にオンライン学習費を追加したことも教育の機会均等に寄与する措置として評価できます。今後は、各学校におけるICT機器の利活用のためのICT支援員によるサポートをさらに充実させると共に、教員のICT活用指導力の向上のための研修等を充実させ、授業において児童生徒がICT機器も活用した新たな学びのスタイルを身につけられるよう配慮していただきたいと思えます。

公共の建物の老朽化については全国的な課題となっていますが、東郷町教育委員会が平成30年3月に策定した「東郷町学校施設長寿命化計画」を拝見しますと、「本町の多くの学校施設は、昭和40年代後半から50年代にかけて建築され、建築後30年を超える建物が全体床面積の74%を占め、老朽化による建物自体の寿命や設備の不具合等の課題を抱えています。また、少子化などの社会状況や教育内容・教育方法等の多様化、防災機能の強化、バリアフリー、環境への配慮など、学校施設へのニーズが時代とともに変わり、必要な機能を十分維持できなくなりつつあります。」とあります。さらに「学校教育系施設のうち、平成28年（2016年）時点で建築後30年を超える施設は、延床面積割合で約74%、10年後の平成38年（2026年）には約82%を占めることとなります。本町の学校教育系施設は公共施設の中でも、比較的早い時期に集中して改修を必要とする時期を迎えます。」ともあります。東郷町においても、学校施設の長寿命化改修を進めるだけではなく大規模改造を計画・実施していくことは喫緊の課題であると考えます。いただいた資料においては令和3年度小中学

校維持管理事業が該当すると思われませんが、トイレ等の改修や屋上防水改修が主なものであって、抜本的な長寿命化改修、大規模改造の進捗状況について懸念されます。継続的な財政負担が必要となる事業ですが、必ず必要となる事業であり、こどもたちの充実した学習のためにも学校施設の充実は欠かせない事業です。将来の東郷町を担うこどもたちの学習環境の維持・改善のためにも計画的な予算確保をお願いしたいと思います。

また、平成 31 年 3 月に策定した「東郷町スポーツ施設等長寿命化計画」において、東郷町民会館を始めとして対象施設が 5 棟であり、5 棟全体における今後 10 年間（2019 年度～2028 年度）における修繕計画（平準化前）が示されていますが、今回の点検・評価資料には対象施設の修繕に関する予算措置の状況が見当たらないように思います。いただいた資料に記載がないだけであり、予算が確保されているとよいのですが、学校施設が学校教育が行われる大切な場所であるように、スポーツ施設等は生涯学習・社会教育が行われる大切な場所です。計画が計画に終わらず、着実に進むことを願います。

現在、教員の働き方改革が社会の大きな注目を得ています。このことに関わって小中学校の部活動指導の地域移行について話題となっています。国の「運動部活動の地域移行に関する検討会議」が令和 4 年 6 月に「休日の運動部活動から段階的に地域移行していくことを基本とする」、「令和 5 年度の開始から 3 年後の令和 7 年度末を目途とする」、「平日の運動部活動の地域移行は、できるところから取り組むことが考えられ、地域の実情に応じた休日の地域移行の進捗状況等を検証し、更なる改革を推進する」ことを提言しています。令和 3 年度の状況を点検・評価する今回の結果報告書にこれに関わる内容は当然ありませんが、今後喫緊の課題となることは確実なことであると思います。部活動の地域移行については学校だけでは解決の出来ない課題であって、町民全体の協力なしには対応できない課題ですから、指導できる人材の確保を含めて多くの調整・準備が必要となります。この場を借りて指摘しておきたいと考えます。

令和 3 年度には日本でオリンピック・パラリンピックが開催されました。これを契機に、特に障害者スポーツへの関心が高まった年ともなりました。東郷町では障害者スポーツへの理解促進のために、障害のある方と町内の中高生との協働の取組を実施したことをお聞きしましたが、大変よい取組であると思われました。今後とも同様の取組が継続していくことを望みたいと思います。

生涯学習関係の多くの事業が新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったことは残念です。生涯学習関係の事業は、対面での実施が想定され、計画されることが多く、オンラインでの実施は困難であることも多いですが、新型コロナウイルス感染症の収束が全く見通せない中では、代替案としてのオンライン実施や、積極的な意味でのオンライン実施を検討していかないといけないのかもしれませんが、事業に参加する方の通信環境等への配慮を考えると全ての事業についてオンラインでの実施を計画することは想定できませんが、オンラインでの実施は、会場と参加者数ばかりではなく、時間の制約を超える可能性も秘めているのではないかと思います。生涯学習関連事業のオンライン実施について、できるところから始めて、ノウハウを蓄積していくことも必要ではないでしょうか。

給食センター事業においては安全・安心でおいしい給食の提供のために様々な取組を実施していることが確認出来ました。地元飲食店との「コラボ給食」や「にこにこ給食」など特徴的な取組に努めると共に、地産地消の推進にも努めていることはたいへん良いことである

と思います。令和3年度東海農政局地産地消等優良活動表彰を受賞されたとお聞きしました。関係の皆様方の日頃の努力が認められたものであり「おめでとうございます」と申し上げたいと思います。地産産物や有機野菜の活用には、使用食材の価格や企画、約5、300食分の確保など課題も多いでしょうが、地元への理解促進にもつながる取組です。こども達が「ずっと暮らしたい とうごう」と思えるよう、地元理解にもつながる事業を継続していただきたいと思います。

令和3年3月に「第2次東郷町教育大綱」が改訂されています。令和3年度は改訂された教育大綱に基づく教育の初年度でしたが、教育大綱に示す2つの目標と全部で7つの方策について、いただいた点検・評価の結果報告書では事業の実施や進捗の状況がよく分かりませんでした。また、「教育大綱」と「東郷町教育の一般方針」との関係が明確でないようにも感じられました。少なくとも目標には達成状況を示す指標が必要です。「教育大綱」における「目標1：学力の向上を目指します。」の「方策1：児童生徒一人一人に個別最適化され、創造性を育む教育ICT環境の実現を目指します。」、「方策2：主体的・対話的で深い学びを実現し、生きる力を育みます。」、「方策3：オンラインによる海外交流を展開し、英語とふれあう機会を増やします。」、そして「目標2：安心して学べる教育環境を確保します。」の「方策1：少人数学級・少人数指導など、きめ細かな指導体制を計画的に整備します。」、「方策2：学校施設・学校教材の計画的な充実を図ります。」、「方策3：教員の研修機会を充実し、教員の資質向上を目指します。」、「方策4：教員の働き方改革を推進します。」のそれぞれに必要な事業が行われ、指標が設定されるとともに、進捗状況が把握されることが大切ではないかと考えます。

東郷町教育委員会評価委員 半田 清春

自然災害は、日本のみならず世界中で発生しており、熱波・森林火災・洪水・地震・噴火等連日のように報道されています。自然災害以外ではロシア、ウクライナ問題にとどまることなく様々な争いが各地で起こっています。加えてコロナウイルスによる第7波は、若年層にも流行しています。教育業界の舵取りは、日々との格闘で、夏休みに入って今なお気が抜けない状況で頭の下がる思いです。教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価の結果報告書（令和3年度）を読むにあたり、内容・評価・本年度欄の記載から苦労の様子が感じ取れます。

学校教育課

適応指導事業において、町内小中学校不登校児童生徒数が、平成30年度から令和2年度までは2桁で推移していましたが、令和3年度では3桁になってしまいました。増加数も令和元年度からは20数名になっています。コロナの問題もあるかとは思われますが、学校教育なのか家庭教育なのか気になるところです。近年問題となっている、いじめや発達障害加えてヤングケアラー問題など複雑化してきています。ヤングケアラー問題は、学校におけるスクールソーシャルワーカーを通して情報・状況の情報集約を厚労省が自治体の1部門に集約し連携不足の解消を図ろうとしています。生徒指導事業における心の教室相談員、人員及び相談時間の増加から、この問題に対してだけでなく、諸問題に真摯に取り組み対策を講じている事が感じ取れます。原因が何であれ今後の報告書記載に期待するところです。新型

コロナウイルス感染症対策事業コロナウイルスによる感染増加に関して、10代の感染割合が増加していますが、本年度記載が無いのは、他に移管し学校教育課としての役割を終えたのかそれとも対策は終了しているのか、報告書の中にコロナ感染拡大のためプールの実施がなくなった事以外に記載が無く、令和3年度はまだ流行していたと思われませんが、何故この事業が無くなったのか明確な報告が欲しいものです。小中学校維持管理事業は、年々猛暑から酷暑と教育環境は厳しくなり、東郷町においては各教室の空調工事を終え、新たにガス空調設備保守点検業務が発生しました。和式から様式へのトイレ問題は、学校のみならず地域住民施設公民館にも問題化され、令和3年度に私の居住するコミュニティセンターも全て洋式化されました。学校自体の老朽化は生徒への学びの環境を整えることになり重要な事業と考えます。報告書から積極的に取り組まれている事が感じられます。維持管理・保守点検は、読んで字のごとし分かりやすく理解出来るのですが、会計年度任用職員において、令和2年度は学級運営改善対応員（小学校28人中学校3人）、学校生活介助員（小学校21人中学校5人）とありましたが、令和3年度は学校生活支援員（小学校43人中学校9人）、学校生活介護員（小学校2人）に変化しています。しかしながらこの点についてどこにも触れておりません。何がどう変化しどう対応したのか、言葉尻かもしれませんが、疑義が生じます。小中学校情報教育推進事業ICTを使った教育は、まだ始まったばかりです。利便性の向上は、これから様々な問題も発生し、スピード感も要求され都度対処しなくてはなりません。教職員への研修も必要となり今後の成果に期待します。タブレット端末を使った学習は、コミュニケーション能力の変化も生みだします。企業内において、リモートによる仕事は様々な問題が発生しています。対人関係は人格形成過程において重要と考えています。バランスの良い教育活動が大切と考えています。

私見ですが、教育は学校教育・社会教育・家庭教育がありながら、学校教育は児童生徒、社会教育は一般社会人の様相を呈し、縦割り行政を生み出しています。教育は全ての年代が混在していくものと考えています。欧州には良い例があると思っています。教育は学校だけでなく、地域・家庭のつながりが大切と考えます。個人情報を守る盾に、児童生徒が、生命（自殺等）・財産を失う危険があるにも関わらず、お互いに情報交換の機会を失いつつあります。個人情報保護法の中には、生命・財産に危機が及ぶと推測される時は、情報公開もやむなしと聞いたことがあります。いじめ・自殺は、365日24時間いつでも起こり得るのですから。

生涯学習課

コロナ禍において、ここ数年は様々な活動において中止を余儀なくされていましたが、変遷を経て、感染流行しているものの令和3年度においては活動が少しずつ戻りました。しかし、第7波状況においては、感染拡大が止まらず今後の活動に制約等が発生するかもしれません。スポーツ事業においては、継続が不可欠だけに中止等は大きな痛手です。「緊急事態宣言」「まん延防止等重点措置」が発令された場合は、実施の可否を検討し連絡しますとの通知連絡が最近増えていきました。3年間も諸行事の中止となると、今後の運営を行うに至って、スタッフ・運営方法等様々な方面で別の苦労が発生すると思われれます。

社会教育振興事業・各種教室開催事業コロナ禍において、様々な制約・制限の中での事業大変だったと推察します。町民ニーズの情報収集は、職員が地域活動に時として参加するのも良い機会と思われれます。公民館文化ふれあい事業・音楽祭開催事業・町民会館文化ふれあ

い事業・文化団体体育育成事業コンサートへの誘いは、前年同様開催することが出来、楽しむことが出来ました。業界ではメジャーな方の素晴らしい演奏を、目の前で聴くことが出来良い一日になったと感じました。この演奏会をご覧になった方は、同様の感想を口々にされていたことを、昨日のように覚えています。今後のコンサート企画に期待します。町民会館文化ふれあい事業は、私にとって、初めて感じる事が出来、興味のわき心躍る内容でありました。企画・出演者探し苦労なさっていると感じています。コロナ禍であっても制限解除の隙間をぬって開催できたことは、日頃のたゆまぬ努力の結果と思います。歴史民俗資料事業残念ですが、郷土資料館を見学している人見かけません。企画及びPR・展示方法等考えたいものです。郷土資料館・昔体験館ガイドツアーは、良い企画で楽しそうです。授業のカリキュラム上なかなか難しいとは思っていますが、各小学校毎に開催することが出来ると良いと思います。文化財保護事業文化財講座等事業、参加予定していたのですが、日程調整がつかず断念しました。今後機会あれば参加予定です。令和4年は、歴史講座に参加予定です。講座自体は地味ですが、地道な活動は、リピーターを増やしていくには、大切な活動と感じます。参加者の増減は、企画内容と、時代ニーズによると思います情報が常に心掛けてください。図書館管理運営事業は、困難で難しい事業と思われます。電子書籍の流行、ネットでの本の貸出等従来の図書館からは大きな変化が余儀なくされています。データベースを活用し検索がスピーディで、かつ目的本がすぐ借りられる図書館。本に触れることの少ない地域に対する移動図書館運営と時折新聞の片隅に報道されます。開催時間の思い切った変更やナイト図書館企画など子供たちが図書館や読書に興味を持つような仕掛けを、感染防止対策を実施しながら事業運営を行っていくことに期待します。昨年度より開催日平均利用者数の増加及び入館者数、貸出冊数増加は好ましい結果と思います。各種スポーツ教室開催事業・レガッタ振興事業コロナ禍の中、高嶺小学校のボート体験学習が前年度同様開催できたことが大きな成果と思います。参加生徒の感想文を読む機会があり、いきいきとした楽しかった思い出が綴ってありました。東郷町は「ボートの町」と全国に発信しています。令和4年度には高嶺小学校に続いて諸輪小学校も実施予定と伺っています。是非各小学校のボート体験学習につながることを期待します。近隣市町村には、参加したくても設備・施設が無いのですから。スポーツ団体体育育成事業・スポーツ等指導者育成事業・スポーツ事業開催事業体力づくり推進事業は共に関連する重点施策は同じです。しかも(3)TOGOスポーツクラブの内容が、各小学校において家族体力づくりの日を実施しました。とあり体力づくり推進事業に参加人数・内容が記載されています。違いが不明確です。ニューススポーツごとの参加者、どのスポーツに興味を示し参加してる等、記載内容に一工夫欲しいものです。ところでニューススポーツと記載されていますが、ここ数年変化がありません。近隣市町のスポーツ推進委員意見交換会の中でし、ニューススポーツ動向、参加者の興味、地域の企画・特色など情報の収集に努め、実施内容にも記載が欲しいものです。日頃の活動や努力を拝見しているからこそ残念な報告書になっています。また総合評価において、健康の維持増進とありますが、近年健康寿命・フレイルという言葉と共に、高齢者支援課・社会福祉協議会などが様々教室を開催しています。生涯学習課としての取り組み期待するところです。

給食センター

世界情勢に変化あり、食材等値上がりが厳しく、日々の献立、食材のみならず調味料等確保に苦慮されている姿が浮かび、日々ご苦労様です。給食は、生徒にとって様々な家庭環境

において大切な栄養源です。今後ともよろしくお願ひ致します。コロナ禍おかれては、人材については、どこにも触れられていませんが、安全面・衛生面など大変だったと推察されます。ただ残念なこと1点申し上げるならば、残菜量の増加です前年度より約2、415Kg前々年度より492Kg増加したことです。総合評価の中に、良く分析されていますので令和4年度に期待します。残菜処理方法も何か企画があれば良いのですが。